



安全・安心は、日々の訓練から

令和6年度 緊急消防援助隊 関東ブロック合同訓練
実施結果報告書

緊急消防援助隊 関東ブロック合同訓練 静岡県実行委員会

目 次

はじめに	3
第1章 訓練の全体概要	5
第1 目的	6
第2 基本方針	6
第3 日 時	6
第4 会 場	6
第5 主 催	9
第6 参加機関	9
第7 協力機関	9
第8 想 定	10
第9 訓練内容	10
第10 進 行	12
第11 評 価	15
第12 視 察	17
第13 終了式	17
第14 訓練後の検証	17
第2章 図上訓練の実施結果	25
第1 本部運営訓練	26
第2 航空指揮本部等運営訓練	32
第3 情報収集・情報伝達訓練	34
第4 図上訓練から得られた課題、目標及び成果	37
第3章 実動訓練（陸上部隊）の実施結果	47
第1 本部運営訓練	48
第2 部隊参集・受援対応訓練	53
第3 情報収集・情報伝達訓練	62
第4 部隊運用訓練	71
第5 後方支援活動訓練	94
第6 関係機関連携訓練	102
第7 視 察	108
第8 車両展示	110
第9 終了式	112

第4章 実動訓練（航空部隊）の実施結果	1 1 5
第1 航空指揮本部等運営訓練	1 1 6
第2 航空部隊参集・受援対応訓練	1 2 1
第3 航空部隊情報収集・情報伝達訓練	1 2 7
第4 航空部隊運用訓練	1 2 9
第5 航空後方支援活動訓練	1 3 4
第6 航空部門のタイムスケジュール	1 3 8
第5章 訓練実施結果から得られた課題と対策	1 4 3
第6章 その他	1 5 9
静岡県実行委員会設置要綱	1 6 0
静岡県実行委員会作業部会運営要領	1 6 4
静岡県実行委員会事務局運営要領	1 6 8
訓練リーフレット	1 7 2

はじめに

近年、全国各地で台風や大雨による水害や土砂災害、大きな地震などが相次いで発生しています。こうした災害のたびに、緊急消防援助隊が現地へ駆け付け、様々な知見や教訓を得てきました。また、コロナ禍をきっかけとしてWEB会議やドローンなどのデジタル技術が急速に広がり、消防や防災の分野で積極的に活用されるようになっていきます。そのため、緊急消防援助隊の訓練も、常に新しい技術や方法を取り入れて進めていく必要があります。

今回、本県で行った緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練は、総務省消防庁が示す「令和6年度緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練実施上の重点推進事項について」を基本に計画しました。さらに、令和3年の熱海市土石流災害のほか、令和6年1月に発生した能登半島地震の教訓を生かし、本県の災害特性に合わせた内容としました。

図上訓練は、本県の受援体制をしっかりと検証するため、実動訓練とは切り離して実施しました。実動訓練では、参加した各部隊がより高い技術を身につけるよう、実際の災害現場に近い状況を作り出すことに力を入れました。

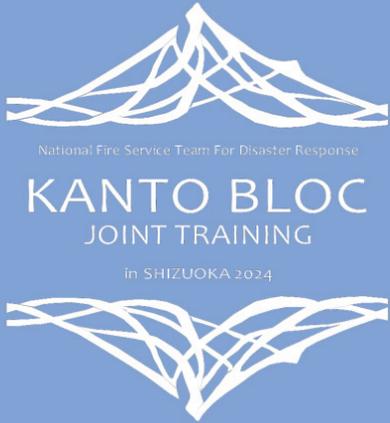
災害時に住民の命を守るためには、日頃からの実践的な訓練の積み重ねが欠かせません。この訓練には、消防機関だけでなく、警察、自衛隊、DMATなどの、多くの関係機関に参加いただき、互いの連携を深めることができました。この成果は、今後の災害対応に大きく生かされると確信しています。

この冊子では、訓練の実施結果をまとめ、訓練から得られた成果や、課題、改善すべき点などを掲載しています。この訓練を一時的なものにとせず、今後、各都県において良かった点は定着を図り、悪かった点については改善を進めていただくことにより、消防・防災体制が更に強化されることを期待しています。

最後に、この訓練を実施するに当たり、民間企業や団体をはじめ、多くの方々から格別の御協力をいただきました。改めて心よりお礼を申し上げます。

令和7年3月

緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練静岡県実行委員会
委員長 黒田 健嗣（静岡県危機管理監）



第1章 訓練の全体概要

第1 目的

静岡県において発生した過去の災害やこれまでの訓練における課題を鑑み、静岡県東部地区での大規模災害を想定した図上訓練及び実動訓練を実施することにより、「緊急消防援助隊の応援等の要請等に関する要綱」、「緊急消防援助隊の運用に関する要綱」及び「静岡県緊急消防援助隊受援計画」に基づく緊急消防援助隊の出動要請、部隊の参集、配備等について、静岡県内の受援体制を検証するとともに、県内消防応援隊及び緊急消防援助隊の活動能力の向上並びに各関係機関との連携強化を図る。

第2 基本方針

1 訓練全体

- (1) 総務省消防庁から提示された「令和6年度緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練実施上の重点推進事項について」を基本方針として実施
- (2) 熱海市の土石流災害のほか、令和6年能登半島地震など、近年多発化・激甚化する水害・土砂災害や、地震・津波災害の教訓を生かした訓練の実施

2 図上訓練

静岡県東部地区で大規模な自然災害が発生し、静岡県消防相互応援協定を発動してもなお消防力が劣勢のため、静岡県及び被災地を管轄する7消防本部がそれぞれ緊急消防援助隊の応援を要請する場面を想定し、各消防本部の受援計画・マニュアルの検証や、発災初動期における受援体制の強化に重点を置いた訓練の実施

3 実動訓練

図上訓練に引き続き、関東ブロック各都県の緊急消防援助隊が静岡県東部地区へ順次進出して、被災地消防本部と連携した指揮活動、救助・消火活動、航空機の運用等を実施する場面を想定し、各都県隊の応援計画・マニュアル等の検証や、隊員の活動能力の向上に重点を置いた訓練の実施

第3 日時

1 図上訓練

令和6年7月25日（木）午前8時30分から午後4時00分まで

2 実動訓練

令和6年11月13日（水）午前8時00分から
令和6年11月14日（木）午前11時15分まで

第4 会場

1 図上訓練

- (1) 静岡県危機管理センター（静岡市）
- (2) 下田消防本部（下田市）

- ウ 御殿場プレミアム・アウトレット駐車場 (御殿場市)
- エ 遊^ゆRUN^{らん}パーク玉穂^{たまほ}駐車場 (御殿場市)
- オ 御殿場プレミアム・アウトレット バスロータリー (御殿場市)
- (3) 富士宮エリア
 - ア 富士宮市消防本部 (富士宮市)
 - イ 田貫湖 (富士宮市)
 - ウ 日蓮正宗総本山大石寺^{にちれんしょうしゅう たいせきじ}駐車場 (富士宮市)
 - エ 富士宮市消防本部西消防署北分署 (富士宮市)
 - オ 日本大学生物資源科学部富士自然教育センター (富士宮市)
- (4) 空港エリア
 - 富士山静岡空港 (牧之原市)
- (5) 沼津エリア
 - 愛鷹^{あしたか}広域公園 (沼津市)
- (6) 富士川エリア
 - ア 富士川滑空場 (静岡市)
 - イ 富士川緑地公園 (富士市)
- (7) 下田エリア
 - ア 安田造船所敷地 (下田市)
 - イ 下田港 (下田市)

令和6年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練(実動訓練) 主な会場



第5 主催

- 1 総務省消防庁
- 2 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練静岡県実行委員会（以下「静岡県実行委員会」という。）

第6 参加機関（図上訓練：286人、実動訓練：1,635人／日、詳細は章末別表参照）

- 1 緊急消防援助隊
関東ブロック1都8県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県）の都県大隊及び各部隊、名古屋市消防局指揮支援隊及び航空隊
- 2 静岡県内消防団
- 3 静岡県内消防本部（局）
- 4 静岡県
- 5 陸上自衛隊（第1師団司令部・第1飛行隊、第34普通科連隊）
- 6 海上自衛隊（横須賀地方総監部）
- 7 航空自衛隊（中部航空方面隊司令部）
- 8 海上保安庁（清水海上保安部、下田海上保安部）
- 9 国土交通省（沼津河川国道事務所、静岡国道事務所）
- 10 静岡県警察本部
- 11 静岡DMAT
- 12 順天堂大学医学部附属静岡病院（ドクターヘリ）
- 13 認定NPO法人災害救助犬静岡
- 14 （一社）静岡県建設業協会
- 15 静岡県石油商業組合
- 16 静岡県生コンクリート工業組合
- 17 鈴与商事（株）
- 18 （株）エスエーエス

第7 協力機関（順不同）

総務省東海総合通信局、中日本高速道路（株）、富士山静岡空港（株）、ミズノ（株）（愛鷹広域公園指定管理者）、（株）ドコモCS東海、KDDI（株）、ソフトバンク（株）、楽天モバイル（株）、立岩石材興業（株）、NPO法人伊豆市スポーツ協会、（公財）JKA、（株）JM（川の駅伊豆ゲートウェイ函南指定管理者）、二葉建設（株）、御殿場プレミアム・アウトレット、（一社）玉穂報徳会遊RUNパーク玉穂、（株）カマド、富士宮市白糸財産区、富士宮市猪之頭区財産区、（公社）富士宮市観光協会、田貫湖キャンプ場、日本野鳥の会、日本大学生物資源科学部、休暇村富士、田貫湖ふれあい自然塾、日月倶楽部、天子の森オートキャンプ場、FUJIYAMA泉の森キャンピングフィールド、富士急静岡バス（株）、（有）スカイ朝霧、アサギリ高原パラグライダーズスクール、ウイングキッズ朝霧パラグライダーズスクール、藤倉コンポジット（株）、（有）富士建材土木、（株）小野田産業、日蓮正宗総本山大石寺、富士川緑地自由広場利用協議会、（一社）静岡県航空協会、伊豆漁業協同組合、（株）安田造船所、下田市、熱海市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、沼津市、御殿場市、富士市、富士宮市、静岡市、牧之原市

第8 想定

1 自然災害への対応

静岡県東部地区で、台風により河川の氾濫や大規模な土砂災害が発生したため、静岡県消防相互応援協定により対応していた。

さらに、静岡県東部地区で地震による強い揺れを観測（※）し、建物の倒壊、火災、津波等により被害が拡大した。

静岡県知事は災害の状況及び県内の消防力を考慮し、消防庁長官に対して緊急消防援助隊の応援を要請した。

※「南海トラフ地震における緊急消防援助隊アクションプラン」の適用基準に該当しない。

2 NBC災害への対応

不特定多数の者が出入りする施設において異臭が発生し、目の痛みや嘔気を訴える者が多数発生した。管轄の消防本部から直接即報により報告を受けた消防庁長官は、事案の状況からNBC災害即応部隊の出動を指示した。

第9 訓練内容

1 図上訓練

(1) 本部運営訓練

- ア 災害対策本部運営訓練
- イ 緊急消防援助隊応援要請訓練
- ウ 消防応援活動調整本部設置・運営訓練
- エ 指揮本部、指揮支援本部設置・運営訓練

(2) 航空指揮本部等運営訓練

航空指揮本部、航空指揮支援本部設置・運営訓練

(3) 情報収集・情報伝達訓練

- ア 動態情報システム（DJS）運用訓練
- イ WEB会議システム活用訓練

2 実動訓練（陸上部隊）

(1) 本部運営訓練

- ア 消防応援活動調整本部運営訓練
- イ 指揮本部、指揮支援本部運営訓練

(2) 部隊参集・受援対応訓練

- ア 指揮支援部隊参集訓練
- イ 統合機動部隊参集訓練
- ウ 都県大隊参集訓練
- エ 土砂・風水害機動支援部隊参集訓練
- オ ヘリコプターによる部隊進出訓練
- カ 受援対応訓練

- (3) 情報収集・情報伝達訓練
 - ア 動態情報システム（DJS）運用訓練
 - イ ドローン運用訓練
 - ウ 映像伝送装置活用訓練
 - エ 消防無線統制訓練
 - オ WEB会議システム活用訓練
- (4) 部隊運用訓練
 - ア 土砂災害救助訓練
 - イ 座屈倒壊建物救助訓練
 - ウ 浸水害救助訓練
 - エ 大規模火災消火訓練
 - オ 孤立者救助訓練
 - カ NBC災害救助訓練
 - キ 救護所設置・運営・患者搬送訓練
 - ク 道路啓開訓練
 - ケ 大規模転院搬送対応訓練
 - コ ブリーフィング訓練
- (5) 後方支援活動訓練
 - ア 宿営地設置・運営訓練
 - イ 感染症予防（デコンタミネーション）訓練
 - ウ 燃料補給訓練
- (6) 関係機関連携訓練
 - ア 活動調整会議訓練
 - イ 現地合同調整所設置・運営訓練
 - ウ 現場活動連携訓練

3 実動訓練（航空部隊）

- (1) 航空指揮本部等運営訓練
 - ア 航空指揮本部、航空指揮支援本部設置・運営訓練
 - イ フォワードベース設置・運営訓練
 - ウ ランディングポイント設置・運営訓練
- (2) 航空部隊参集訓練・受援対応訓練
 - ア 統括指揮支援隊輸送訓練
 - イ 指揮支援隊輸送訓練
 - ウ 航空指揮支援隊輸送訓練
 - エ 航空小隊参集訓練
 - オ 航空後方支援小隊参集訓練
- (3) 航空部隊情報収集・情報伝達訓練
 - ア 上空偵察・映像伝送装置活用訓練（ヘリテレ）

- イ ヘリコプター動態管理システム活用訓練
- (4) 航空部隊運用訓練
 - ア 座屈倒壊建物救助訓練
 - イ 浸水害救助訓練
 - ウ 大規模火災消火訓練
 - エ 孤立者救助訓練 ※ 機体トラブルのため中止
 - オ 津波災害救助訓練
 - カ 人員輸送訓練
 - キ 救助資機材輸送訓練
 - ク 災害救助犬輸送訓練
- (5) 航空後方支援活動訓練
 - ア 資機材の整備や宿営地の設営等訓練
 - イ 航空燃料補給訓練

第10 進行

1 図上訓練

令和6年7月25日（木）

時 間	実施項目	会 場
8時30分	訓練説明	静岡県危機管理センター（静岡市）
8時45分	地震発生	下田消防本部（下田市）
8時45分～	<ul style="list-style-type: none"> ・本部運営訓練 ・航空指揮本部等運営訓練 ・情報収集・情報伝達訓練 	駿東伊豆消防本部（沼津市） 熱海市消防本部（熱海市） 富士山南東消防本部（三島市） 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部（御殿場市） 富士市消防本部（富士市）
15時15分～	検証会	富士宮市消防本部（富士宮市）
16時00分	訓練終了	富士山静岡空港（牧之原市）

2 実動訓練（陸上部隊）

(1) NBC災害救助訓練

令和6年11月13日（水）

時 間	実施項目	会 場
8時00分	NBC災害発生	天城ふるさと広場（伊豆市）
8時00分～	<ul style="list-style-type: none"> ・本部運営訓練 ・情報収集・情報伝達訓練 ・部隊運用訓練 ・関係機関連携訓練 	道の駅伊豆月ヶ瀬（伊豆市） 天城会館（伊豆市）
11時30分	訓練終了	

(2) 自然災害対応訓練

ア 令和6年11月13日(水)

時 間	実施項目	会 場
各部隊の参集開始時刻～進出拠点到着時刻	部隊参集・受援対応訓練	天城ふるさと広場（伊豆市） 日本競輪選手養成所（伊豆市） さつきヶ丘公園（伊豆の国市） 遊RUNパーク玉穂駐車場（御殿場市） 御殿場プレミアム・アウトレット駐車場（御殿場市） 富士宮市消防本部西消防署北分署（富士宮市） 田貫湖（富士宮市） 日蓮正宗総本山大石寺駐車場（富士宮市） 愛鷹広域公園（沼津市） 安田造船所敷地（下田市）
11時00分～17時00分	本部運営訓練	天城ふるさと広場（伊豆市） 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部（御殿場市） 富士宮市消防本部（富士宮市）
各部隊の進出拠点到着時刻～17時00分	・部隊運用訓練 ・関係機関連携訓練	天城ふるさと広場（伊豆市） 立岩石材興業（株）スコリア工場（伊豆市） 天城会館（伊豆市） 二葉建設（株）東山工場（御殿場市） 御殿場プレミアム・アウトレット駐車場（御殿場市） 田貫湖（富士宮市） 日蓮正宗総本山大石寺駐車場（富士宮市）
被災地消防本部が指定する時刻	関係機関連携訓練 （活動調整会議訓練）	天城ふるさと広場（伊豆市） 御殿場プレミアム・アウトレット駐車場（御殿場市） 田貫湖（富士宮市）
	部隊運用訓練 （ブリーフィング訓練）	駿東伊豆消防本部田方南消防署（伊豆市） 日本競輪選手養成所（伊豆市） さつきヶ丘公園（伊豆の国市） 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部（御殿場市） 御殿場プレミアム・アウトレット駐車場（御殿場市） 富士宮市消防本部（富士宮市） 日蓮正宗総本山大石寺駐車場（富士宮市）
各部隊の進出拠点到着時刻～翌10時30分	後方支援活動訓練	日本競輪選手養成所（伊豆市） さつきヶ丘公園（伊豆の国市） 御殿場プレミアム・アウトレット駐車場（御殿場市） 日蓮正宗総本山大石寺駐車場（富士宮市）

※ 情報収集・情報伝達訓練は、訓練開始から終了まで実施

イ 令和6年11月14日（木）

時間	実施項目	会場
8時30分～	本部運営訓練	天城ふるさと広場（伊豆市） 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部（御殿場市） 富士宮市消防本部（富士宮市）
	・部隊運用訓練 ・関係機関連携訓練	天城ふるさと広場（伊豆市） 道の駅伊豆月ヶ瀬（伊豆市） 天城会館（伊豆市） 立岩石材興業（株）スコリア工場（伊豆市） 二葉建設（株）東山工場（御殿場市） 御殿場プレミアム・アウトレット駐車場（御殿場市） 田貫湖（富士宮市）
10時40分	訓練終了	
10時55分 ～11時15分	終了式	天城ふるさと広場（伊豆市）

※ 情報収集・情報伝達訓練は、訓練開始から終了まで実施

3 実動訓練（航空部隊）

(1) 令和6年11月13日（水）

時間	実施項目	会場
各部隊の参集開始時刻～到着時刻	航空部隊参集・受援対応訓練	天城ふるさと広場（伊豆市） 遊RUNパーク玉穂駐車場（御殿場市） 富士宮市消防本部西消防署北分署（富士宮市） 富士山静岡空港（牧之原市）
11時00分 ～17時30分	航空指揮本部等運営訓練	富士山静岡空港（牧之原市） 愛鷹広域公園（沼津市） 天城ふるさと広場（伊豆市） 遊RUNパーク玉穂駐車場（御殿場市） 日蓮正宗総本山大石寺駐車場（富士宮市） 富士宮市消防本部西消防署北分署（富士宮市） 安田造船所敷地（下田市）
各部隊のヘリベース到着時刻～15時05分	航空部隊運用訓練	愛鷹広域公園（沼津市） 二葉建設（株）東山工場（御殿場市） 田貫湖（富士宮市） 日蓮正宗総本山大石寺駐車場（富士宮市） 長者ヶ岳（富士宮市） 安田造船所敷地（下田市） 下田港（下田市）

13時00分 ～14時40分	航空後方支援活動 訓練	富士山静岡空港（牧之原市） 静岡県環境放射線監視センター（牧之原市）
-------------------	----------------	---------------------------------------

※ 航空部隊情報収集・情報伝達訓練は、訓練開始から終了まで実施

(2) 令和6年11月14日（木）

時間	実施項目	会場
7時30分～	航空指揮本部等運営訓練	富士山静岡空港（牧之原市） 愛鷹広域公園（沼津市）
	航空部隊運用訓練	天城ふるさと広場（伊豆市） 川の駅伊豆ゲートウェイ函南（函南町） 田貫湖（富士宮市） 日蓮正宗総本山大石寺駐車場（富士宮市） 富士川緑地公園（富士市） 富士川滑空場（静岡市）
	航空後方支援活動訓練	愛鷹広域公園（沼津市）
10時50分	訓練終了	

※ 航空部隊情報収集・情報伝達訓練は、訓練開始から終了まで実施

第11 評価

図上訓練及び実動訓練（陸上部隊・航空部隊）の各会場には、評価者を配置して検証を行った。

1 図上訓練

No.	会場	評価者
1	静岡県危機管理センター	名古屋市消防局職員
		茨城県防災航空隊員
		茨城県職員
		総務省消防庁広域応援室職員
2	下田消防本部	川崎市消防局職員（訓練検討員）
	駿東伊豆消防本部	静岡市消防局職員
	熱海市消防本部	横浜市消防局職員
	富士山南東消防本部	相模原市消防局職員
	御殿場市・小山町広域行政組合消防本部	総務省消防庁広域応援室職員
	富士市消防本部	浜松市消防局職員
	富士宮市消防本部	山梨県甲府地区広域行政事務組合消防本部職員（訓練検討員）
3	富士山静岡空港（ヘリベース）	茨城県防災航空隊員

2 実動訓練（陸上部隊）

訓練項目		評価者
本部運営 訓練	消防応援活動調整本部運営訓練	横浜市消防局統括指揮支援隊長
	指揮本部・指揮支援本部運営訓練	静岡市消防局指揮支援隊長
		相模原市消防局指揮支援隊長
		名古屋市消防局指揮支援隊長
	浜松市消防局指揮支援隊長	
部隊参集・受援対応訓練	指揮支援部隊長、各指揮支援隊長	
	各統合機動部隊長	
	各都県大隊長	
	土砂・風水害機動支援部隊長	
情報収集・情報伝達訓練	指揮支援部隊長、各指揮支援隊長	
	各統合機動部隊長	
	各都県大隊長	
	各部隊長	
部隊運用訓練	各都県大隊長又は部隊長	
関係機関連携訓練	各指揮支援隊長	
	各都県大隊長	
	各部隊長	
後方支援活動訓練	各都県大隊等の後方支援中隊長	

エリア	評価者
伊豆エリア	総務省消防庁職員
御殿場エリア	緊急消防援助隊地域ブロック訓練検討員 (川崎市消防局)
富士宮エリア	緊急消防援助隊地域ブロック訓練検討員 (甲府地区広域行政事務組合消防本部)

3 実動訓練（航空部隊）

訓練項目	評価者
航空指揮本部等運営訓練	茨城県防災航空隊 (航空指揮支援本部長)
航空部隊参集訓練・受援対応訓練	各航空小隊長
航空部隊情報収集・情報伝達訓練	
航空部隊運用訓練	
航空後方支援活動訓練	

第12 視察

緊急消防援助隊の協働・連携体制を把握し、隊員の士気高揚を図るため、訓練視察を実施した。

1 日時

- (1) 令和6年11月13日（水）午後2時30分から午後5時30分まで
- (2) 令和6年11月14日（木）午前9時30分から午前10時40分まで

2 場所

- (1) 天城ふるさと広場
- (2) 御殿場プレミアム・アウトレット駐車場
- (3) 田貫湖

3 視察者

総務省消防庁国民保護・防災部防災課広域応援室長、静岡県副知事、伊豆市長、富士宮市長、御殿場市危機管理監

第13 終了式

1 日時

令和6年11月14日（木）午前10時55分から午前11時15分まで

2 場所

天城ふるさと広場 天城ドーム内

第14 訓練後の検証

1 全体検証会（図上訓練（第1回））

(1) 日時

令和6年8月9日（金）午前10時00分から午前12時00分まで

(2) 開催方法

WEB会議形式（Zoom）及び対面形式

(3) 場所

静岡県危機管理センター

(4) 参加機関

- ア 評価者
- イ 訓練参加機関
- ウ 緊急消防援助隊地域ブロック訓練検討員
- エ 総務省消防庁
- オ 静岡県実行委員会

2 全体検証会（実動訓練（航空部隊））

(1) 日時

令和6年11月29日（金）午前10時00分から午前11時30分まで

- (2) 開催方法
WEB会議形式 (Zoom)
- (3) 場 所
静岡県危機管理センター
- (4) 参加機関
 - ア 評価者 (航空部隊)
 - イ 静岡県 (静岡県消防防災航空隊)
 - ウ 被災地消防本部
 - エ 総務省消防庁
 - オ 静岡県実行委員会

3 全体検証会 (実動訓練 (陸上部隊))

- (1) 日 時
令和6年11月29日 (金) 午後1時30分から午後4時20分まで
- (2) 開催形式
WEB会議形式 (Zoom)
- (3) 場 所
静岡県危機管理センター
- (4) 参加機関
 - ア 評価者 (陸上部隊)
 - イ 静岡県 (静岡県消防応援活動調整本部)
 - ウ 被災地消防本部
 - エ 緊急消防援助隊地域ブロック訓練検討員
 - オ 総務省消防庁
 - カ 静岡県実行委員会

4 全体検証会 (図上訓練 (第2回))

- (1) 日 時
令和6年12月26日 (木) 午後1時30分から午後3時00分まで
- (2) 開催形式
WEB会議形式 (Zoom)
- (3) 場 所
静岡県危機管理センター
- (4) 参加機関
 - ア 評価者
 - イ 訓練参加機関
 - ウ 緊急消防援助隊地域ブロック訓練検討員
 - エ 総務省消防庁
 - オ 静岡県実行委員会

5 全体検証会の状況

全体検証会（図上訓練（第1回））



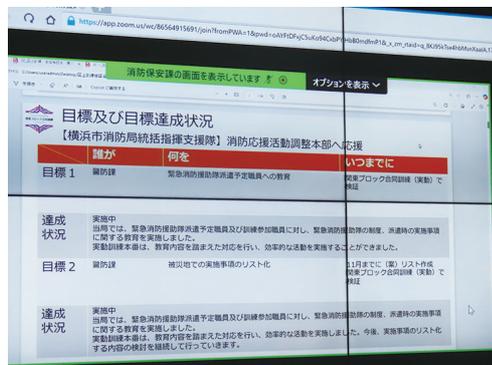
全体検証会（実動訓練（航空部隊））



全体検証会（実動訓練（陸上部隊））



全体検証会（図上訓練（第2回））



別表

令和6年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練 参加人員

1 図上訓練

(1) 都県別訓練参加隊数・人員

機 関		隊	人 員
統括指揮支援隊	横浜市消防局	1	9
指揮支援隊	相模原市消防局	1	6
	川崎市消防局	1	6
	東京消防庁	1	5
	名古屋市消防局	1	7
航空指揮支援隊	群馬県防災航空隊	1	3
合 計		6	36

(2) 県内参加隊数・人員

機 関		隊	人 員	
被災県及び被災地消防本部	静岡県	危機管理部	—	30
		消防防災航空隊	1	6
	消防本部	下田消防本部	—	22
		駿東伊豆消防本部	—	39
		熱海市消防本部	—	16
		富士山南東消防本部	—	31
		御殿場市・小山町広域行政組合消防本部	—	22
		富士市消防本部	—	25
		富士宮市消防本部	—	20
	指揮支援隊	静岡市消防局	1	6
代表消防本部	—		3	
指揮支援隊	浜松市消防局	2	10	
合 計		4	230	

(3) 関係機関参加隊数・人員

関係機関・団体名		隊・団体数	人員
総務省消防庁		1	2
陸上自衛隊	第1師団司令部	1	2
	第34普通科連隊	1	2
海上自衛隊（横須賀地方総監部）		1	3
航空自衛隊（中部航空方面隊司令部）		1	2
海上保安庁（清水海上保安部）		1	5
静岡県警察本部		1	3
順天堂大学医学部附属静岡病院（ドクターヘリ）		1	1
合 計		8	20

図上訓練参加合計数(1)+(2)+(3) 286人

【参考】 統制班

機 関		人 員
総務省消防庁		3
静岡県	危機管理部、地域局	22
	消防防災航空隊	2
県内9消防本部（局）	※訓練参加消防本部	113
県内7市	※被災地消防本部管轄市	16
合 計		156

2 実動訓練（陸上部隊・航空部隊）

(1) 都県別訓練参加隊数・人員

都県名 部隊名	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		東京都		神奈川県		山梨県		長野県		小計		隣接県 (名古屋 市消防局) 愛知県		小計		合計				
	隊数	人員	隊数	人員	隊数	人員	隊数	人員	隊数	人員	隊数	人員	隊数	人員	隊数	人員	隊数	人員	隊数	人員	隊数	人員	隊数	人員	隊数	人員			
統括指揮支援隊													1	7							1	7					1	7	
指揮支援隊													1	6							1	6	1	8	1	8	2	14	
都県大隊指揮隊	1	5	1	5			1	4	1	4	1	4	2	9	1	4	1	4	1	4	9	39					9	39	
統合機動部隊指揮隊	1	4	1	5			1	4	1	5	1	6	1	5	1	5	1	5	1	5	8	39					8	39	
エネルギー・産業基盤 災害即応部隊指揮隊																													
NBC災害即応部隊 指揮隊													1	5	1	4					2	9					2	9	
土砂・風水害機動 支援部隊指揮隊					1	4															1	4					1	4	
消火小隊	3	15	2	9			5	22	5	24	4	16	6	28	5	21	4	17	34	152								152	
救助小隊	4	20	4	22	2	10	5	20	5	24	7	23	7	33	5	22	4	20	43	194							43	194	
救急小隊	4	12	2	6			5	15	3	9	3	10	4	12	2	6	2	6	25	76							25	76	
後方支援小隊	13	43	12	42	8	29	16	63	12	52	12	36	20	70	10	25	9	23	112	383							112	383	
通信支援小隊	1	3	1	3					1	4	2	9	1	4	1	2	3	11	10	36							10	36	
特殊 災害 小隊	毒劇物等対応小隊													3	16					3	16							3	16
	大規模危険物 火災等対応小隊									1	8									1	8							1	8
	密閉空間火災等 対応小隊																												
特殊 装備 小隊	遠距離 大量送水小隊																												
	消防活動二輪小隊																												
	震災対応 特殊車両小隊	2	6			1	3	3	6			2	4							8	19							8	19
	水難救助小隊																												
その他の 特殊装備小隊					1	2	2	4	1	5									4	11							4	11	
航空 部隊	航空指揮支援隊	1	7																	1	7							1	7
	航空小隊					1	9	1	7	1	6	1	8	2	13	1	8			7	51	1	4	1	4	8	55		
	航空後方支援小隊																	1	3	1	3					1	3		
合計	30	115	23	92	14	57	39	145	31	141	33	116	49	208	27	97	25	89	271	1060	2	12	2	12	273	1072			

(2) 静岡県内参加隊数・人員

機 関		隊・機関	人 員
県内消防団		1	4
県内消防本部（局） ※ 全16消防本部	緊急消防援助隊	6	24
	県内消防応援隊	36	136
	被災地消防本部	34	175
静岡県	危機管理部	—	8
	消防防災航空隊	1	6
合計		78	353

(3) 関係機関参加隊数・人員

関係機関・団体名		隊・団体数	人 員
陸上自衛隊	第1師団第1飛行隊	1	6
	第34普通科連隊	5	40
海上保安庁（下田海上保安部）		1	9
国土交通省（沼津河川国道事務所・静岡国道事務所）		—	13
静岡県警察本部		5	62
静岡DMAT		8	48
認定NPO 法人災害救助犬静岡		1	5
（一社）静岡県建設業協会		—	11
静岡県石油商業組合		—	5
静岡県生コンクリート工業組合		—	7
鈴与商事（株）		—	2
（株）エスエーエス		—	2
合計		21	210

実動訓練参加合計数(1)+(2)+(3) 1,635人/日

【参考】 運営係員数

機 関	人 員		延べ人員
	1日目	2日目	合計
県内16消防本部（局）	302	230	532
静岡県消防防災航空隊	2	2	4
県内消防団	80	38	118
静岡県（危機管理部、地域局）	55	55	110
合計	439	325	764

